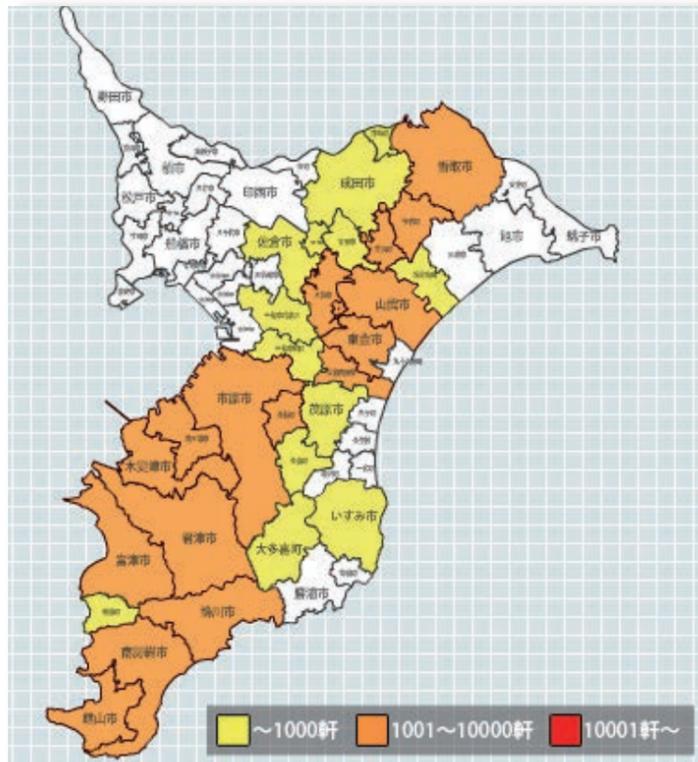


# 千葉の停電においてもお役に立つことが出来ました。 災害時の アウトランダーPHEVのご活用



2019年9月9日に千葉県を襲った「台風15号」  
その直後、千葉県のほぼ全域が一斉に停電に見舞われる  
非常事態に陥りました。  
電気という大きなライフラインが閉ざされた数週間、  
三菱自動車工業は東京電力を通じ、各自治体へ  
移動電源車両としてアウトランダーPHEVを派遣しました。



TEPCO 東京電力ホールディングス 株式会社 @OfficialTEPCO

■お知らせ■  
電気自動車に搭載した大容量バッテリーから給電することで、現地での復旧活動等に必要  
な電気をご提供するため、電気自動車や給電  
装置を各自治体様へ派遣しています。  
この派遣にあたっては、自動車メーカー様や  
機器メーカー様による多大なご協力を頂いて  
おります。



2:40 - 2019年9月16日

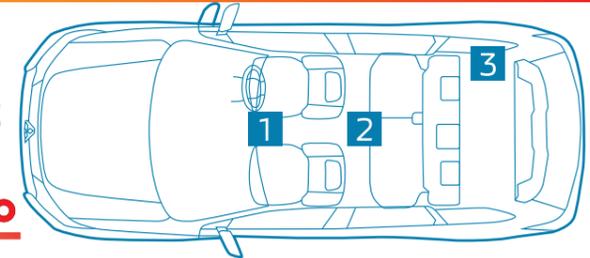
災害派遣された  
アウトランダーPHEV

Mitsubishi Motors/三菱自動車  
9月14日 21:24

このたび、台風15号の影響により被災されたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。  
三菱自動車は、自治体の要請を受け、9月12日より、当社のプラグインハイブリッドEV『アウトランダーPHEV』6台を千葉県内の施設にお届けし、給電のサポートを行っております。  
SNSなどでも、当社のPHEVへ多くの御期待を頂いておりますが、来週以降は、さらに6台を追加でお届けするなどして、支援を拡大してまいります。

# アウトランダーPHEVが 災害時に活躍する理由

合計1500Wまで  
使える100Vコンセントを二つ装備している事  
大半の電化製品が使えます。



電化製品の一例



コーヒーマーカー 冷蔵庫 トースター ヘアドライヤー 掃除機



料理に必要なIHクッキングヒーターであったり、電子レンジであったり、電気ケトルであったり、冷蔵庫も使えて食材の保存もバッチリ！  
このアウトランダーPHEVの給電機能で、安心して使用することが出来ます。  
コンセントを家の中に引き込めば、トイレや明かりも確保出来可能なのです。  
さらにはテレビやパソコン、スマートフォンが使えて情報収集に役立ちます。



## 場所を選ばず、ガソリンで発電

バッテリーが切れてもガソリンを  
給油可能な限り給電可能です。



最低地上高が高い上にS-AWCの優れた走破性で災害時の悪路においても安心して安全に移動していただけます。

## V2H機能が搭載されたお宅で

アウトランダーPHEVの電力を使って家全体の電力が最大10日間まかなえます。

PHEVを非常電源として  
使える目安。

バッテリー、燃料タンクが満タン時から

1日あたり10kWhとして計算した場合  
\*1  
一般家庭電力量 最大約 10日分  
(エンジンでの発電を組み合わせる場合)



駆動用バッテリー

V2H機器

ノートパソコン  
電気ケトル  
ヘアドライヤー  
電子レンジ



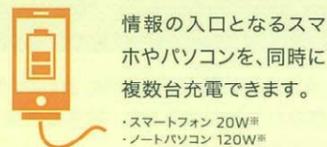
### 「100V AC電源(1500W)」から給電

電気を蓄え、供給する。「動く電源」ともいえるアウトランダーPHEVは、車内2箇所のコンセントから合計で最大1500Wまでの電気を簡単に使えるのが大きな魅力。もしもの時にも、ライフラインの一つとして幅広く活用することができます。

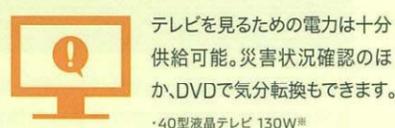
## 1 停電中でも、情報収集をサポート。

家族の安否や災害の状況、緊急時こそ最新情報は欠かせません。災害時に起こりうる停電でも、アウトランダーPHEVから給電。情報を絶やさずキャッチできる環境に。

### 緊急連絡に備えて、スマホを充電!



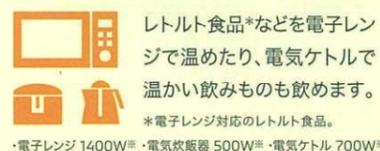
### 速報やニュースをテレビで!



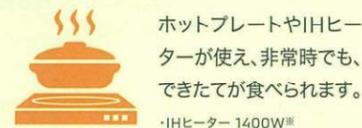
## 2 非常時の食卓もバックアップ。

調理家電を使っていつでも温かいものが食べられるのも、アウトランダーPHEVから給電できる強み。災害で食料の調達がむずかしい時でも、家にある手近な食材を生かして料理をつくることも。

### 温かいものを、手早く!



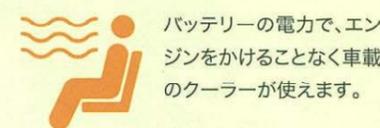
### 煮たり焼いたり、アツアツを!



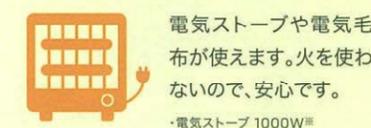
## 3 災害時の暑さ・寒さ対策にも。

消費電力の大きい冷暖房器具も十分にまかなえる、アウトランダーPHEVのバッテリー容量。真夏や真冬の停電でも、天候や体調に合わせて温度の調整ができます。

### 停電中でも、暑さをムリせずに!



### 体を温める工夫を、身近な家電で!



●2つのACコンセントを同時に使用するとき、消費電力の合計が1500Wを超えないようにしてください。●消費電力が1500Wを超えると、給電停止または出力低下となる場合があります。●ACコンセントに、たこ足配線はしないでください。●定格消費電力1500W以下でも使用できない機器があります。●AC電源使用時は駆動用バッテリーの残量が少なくなると、自動的にエンジンが始動し充電をおこないます。車両の停止中にエンジンが始動した場合、アイドリングストップに関する条項に抵触することがありますので、十分にご注意ください。※記載の消費電力(W)は一般的な目安です。ご使用の電気製品の種類や大きさなどにより消費電力は大きく異なる場合があります。

## アウトランダーPHEVの電気を、お家の電気に。V2H機器

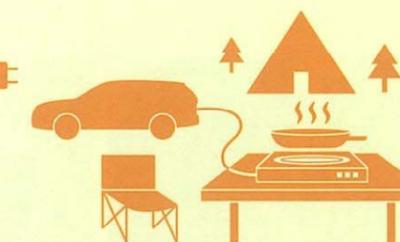
「V2H」とはクルマに蓄えた電気を家で使う仕組みのこと。万一の停電や災害などでライフラインが寸断されても、アウトランダーPHEVのバッテリーからV2H機器を経由して家庭へ電力を供給。情報機器、電化製品などが使用可能です。満充電の状態でも一般家庭の最大約1日分\*、エンジンでの発電\*も組み合わせれば、ガソリン満タンで最大約10日分\*の電力が供給可能です。

\*:供給可能電力量は当社試算による(一般家庭での一日当たりの使用電力量を約10kWh/日として算出、V2H機器等の変換効率率は含みません)。住宅との接続にはV2H機器が必要です。V2H機器に接続している場合、エンジン始動による発電はできません。エンジンでの発電を行う場合は、V2H機器との接続を終了してください。V2H機器については、営業スタッフまたは各V2H機器取扱メーカーにおたずねください。



## アウトドアの体験が、非常時の味方に!

アウトランダーPHEVの「100V AC電源(1500W)」は、アウトドアでも大活躍。クルマからの給電で、IHヒーターやジュースなど野外で家電を使いこなす体験が、災害時の行動にも生きてきます。



## 移動手段として

### 環境の変化にも、SUV & 4WDの安心感。

前後の高出力モーターによる力強い発進と加速、SUVならではの高い地上高。荒れた路面でも高い走破性を発揮する。それが、三菱自動車に誇る4WD SUV。多彩なシートアレンジで、大きな荷物を積むこともできます。



## 空間として

### ゆとりの車内で、避難生活にひと息。

避難生活でとくに気になるのが、プライバシー。広々空間のアウトランダーPHEVなら、車内でゆったり過ごせて、ペットがいる人も安心。シートを倒せば、フラットスペースで足を伸ばしてくつろぐこともできます。



オーナーさまに聞きました!

## 災害時のアウトランダーPHEV活用

# あの北海道大停電では、どんな使い方を?

2018年9月6日未明、北海道を襲った「北海道胆振東部地震」<sup>いぶり</sup>。その直後、北海道のほぼ全域が一斉に停電に見舞われるという非常事態に。電気という大きなライフラインが閉ざされた数日間、アウトランダーPHEVはどう役に立ったのか。北海道のオーナーさまの貴重なお話から、アウトランダーPHEVがもしもの時のライフラインの備えになることが見えてきました。

### EPISODE 1

## もう一つのライフラインがある。 その安心感に救われました。

北海道江別市 加藤さま



札幌近郊にお住まいの加藤さまが、アウトランダーPHEVを購入されたのは2018年6月。そのわずか3ヵ月後、あの大地震と大停電が。「クルマからの電気を、まさか災害で初めて使うことになるとは!」ご主人、奥さま、小学生の娘さんの3日間にわたる奮闘ぶりを、再現をまじえてお話しいただきました。

#### 1日目 トイレが流れない!

「停電でまず困ったのが、トイレ」。断水はなかったものの、電気がないと水が流れない状態。「そうだ、アウトランダーPHEVの電気がある!」手探りながら、車内のコンセントに延長コードを差し込み、クルマの窓からトイレの窓へ。ジャーと水が流れると、思わず「やったー!」安堵と同時にアウトランダーPHEVの電気が生活に使えると分かった瞬間でした。このあと炊飯器で炊きたてのごはんも。娘さんにとっても忘れられない味になったようです。



・トイレ 1300W  
・電気炊飯器 1200W

#### 2日目 停電時でも、洗濯物が出る!

9月はまだ汗をかく季節、洗濯物をためるのも限界が。アウトランダーPHEVのコンセントにつないでみると、洗濯機のような大型家電も難なくクリア。ただし「1回1家電」「終わったら給電オフ」が奥さまルール。安全や節電の心掛けはお手本になります。



・洗濯機 380W

#### 3日目 夜9時、電気が復旧!

気になるのが、ここまでどのくらいの充電とガソリンで乗り切ったのか。停電直後、ガソリンとバッテリーの容量はそれぞれ8割ほど。料理も掃除も洗濯もこなし、復旧時は、充電分はほぼ使い切ったものの、ガソリンはまだ5~6割も。「便利だけじゃなくて、一番大きかったのは、なんとかやっていけるという気持ちになれたこと」。アウトランダーPHEVというもう一つのライフラインの心強さを、大停電で実感されたようです。



車内コンセントは後部座席の前のほかに、ラゲッジルームにも。



車内のコンセントにつないだ延長コードをクルマの窓から家中へ。



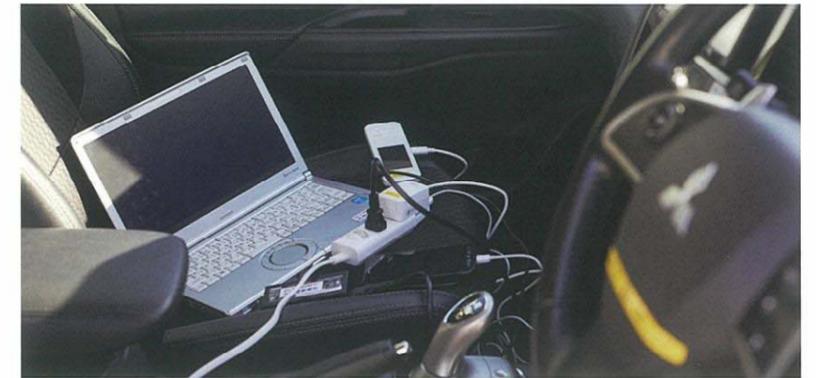
消費電力が大きいIHヒーター(1400W)も使うことができました。

◎写真はすべて「北海道胆振東部地震」による停電などの非常時当時の再現です。記載の消費電力(W)は、加藤さまが実際にお使いの電気製品の数値です。  
●2つのACコンセントを同時に使用するときは、消費電力の合計が1500Wを超えないようにしてください。●消費電力が1500Wを超えると、給電停止または出力低下となる場合があります。●ACコンセントに、たこ足配線はしないでください。●定格消費電力1500W以下でも使用できない機器があります。●AC電源使用時は駆動用バッテリーの残量が少なくなると、自動的にエンジンが始動し充電をおこないます。車両の停止中にエンジンが始動した場合、アイドリングストップに関する条件に抵触することがありますので、十分にご注意ください。

### EPISODE 2

新聞社にも取材しました!

## 災害時こそ最新情報を。 地元を支える北海道新聞社でも活躍。



地域に根ざした報道で、全道で広く親しまれている北海道新聞社。同社では、2012年初冬、登別、室蘭など西胆振地域が数日間停電に見舞われた暴風雪を機に、電源車も兼ねた社有車としてアウトランダーPHEVを導入。現在、本社から支社、支局まであわせて9台が配備されています。発電機も大型電源車も完備されている新聞社ですが、不測の事態に備える責任感はクルマにまで一貫。このたびの「北海道胆振東部地震」や大停電でも、その確かな備えが力を発揮しました。



#### 現場で

地震の被災地の一つ厚真町にて、9月8日から24日まで、17日間の取材で使用。本社や現地記者とのやり取りが頻繁にあり、携帯電話やパソコン、Wi-Fiルーターなど、常時4~6台の機器を車内のコンセントで充電しながら取材活動を続けられたそうです。

#### 支局で

稚内支局では、9月6日の停電当日の朝から電源車として使用。携帯電話、パソコン、Wi-Fiルーターをはじめ、プリンター、ファックス、照明などにつなげ、業務を継続。給電は翌日の復旧まで約1日半。ガソリンの使用量は満タンから1/4程度で済んだそうです。

ココも注目!

### バッテリーの電気もエンジンでの発電も、Wスタンバイ!

アウトランダーPHEVは、バッテリーの電気を使えるだけでなく、バッテリーが減るとエンジンが自動で発電。停電などで外部充電できない場合も、ガソリンを使ってエンジンで発電し、供給することができます。



バッテリーは満充電状態

電気を使い続けると、バッテリーの電気を消費

エンジンで発電し、バッテリーに充電

※記載の消費電力(W)は一般的な目安です。ご使用の電気製品の種類や大きさなどにより消費電力は大きく異なる場合があります。

ココも注目!

### シートは、避難状況にあわせて自由に!



#### 積む

後部座席を前に倒せば、最大約1740mm×約975mm。避難所で使う布団や寝袋、さらにテントなどの大きな荷物も積み込めます。



#### 休む

運転席と助手席は、後ろに倒すとほぼフラットに。足を伸ばして、リラックスすることができます。

◎撮影車両には販売会社独自のアクセサリが装着されています。

# OUTLANDER PHEV

## アウトランダーPHEVを「走る蓄電池」「走る発電機」に!



### 「100V AC電源(1500W)」から給電

2019年9月8日から9日にかけて関東地方に上陸し大きな被害をもたらした台風15号の影響で、千葉県を中心に大規模な停電が発生。三菱自動車は現地自治体の要請を受け、『アウトランダーPHEV』計12台を高齢者施設等に派遣し、冷蔵庫や洗濯機、電子レンジなど給電による支援を行いました。

### 冷蔵庫や電子レンジなどに給電。200人分の洗濯も!



君津市の高齢者施設で200人分の衣類を洗濯

三菱自動車では、台風15号が関東を通過後、千葉県内の停電が長期化していることを報道で知り、すぐさま県下自治体へのコンタクトを開始。販売会社協力のもと、ひとまずアウトランダーPHEV6台を確保(最終的には12台を派遣)し、支援要請を受けた自治体に向かい、2019年9月12日から泊まり込みの支援をスタートしました。

要請のあった<sup>きよなんまち</sup>鋸南町の高齢者施設では、停電により夜も真っ暗で不安な中過ごされている入居者が多くいました。アウトランダーPHEVの電力で、照明や冷蔵庫、電子レンジなどのほか、電動ベッドの昇降などにも使用。電気がつき、冷蔵庫が動き出した時には職員の皆様から拍手が起こるほど喜んでいただきました。

さらに、君津市の施設では、入居者約200人分の衣類の洗濯のため、アウトランダーPHEV4台で洗濯機4台と乾燥機2台を回すことに。台風一過の猛暑の中、空調も使えず、お風呂にも入れず、頻りに着替えていたため、かなりの量の洗濯物がたまっていたことから、たいへん感謝されました。

#### 実際に使用した家電などの例



PHEVのコンセントからリールを使い家電と接続

### 電池がなくなっても、エンジンで発電しながら給電が可能。

車に蓄えられている電気がなくなった場合でも、アウトランダーPHEVなら、ガソリンさえあればエンジンで発電しながら給電することができます。

支援に参加した社員は「実際に電源としてつないでみると、本当にガソリンがなかなか減らない。それに『アウトランダーPHEV』なら、ガソリンさえ補充すれば、発電しながらずっと電源として使える。災害時に最強の車だと実感した」と話します。

電気は災害時には特に重要なライフライン。長引く停電時にも、電気の移動、蓄電、加えて発電もできる『アウトランダーPHEV』の存在は、いざという時の心強い味方となるはずです。



<sup>きよなんまち</sup>鋸南町の施設では冷蔵庫や照明などを使用



支援に向かったアウトランダーPHEV

### 操作も簡単、たったの2ステップ。

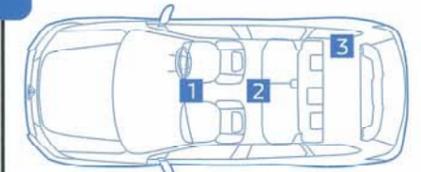
車内のコンセントに挿すだけで家電を使用でき、電源供給装置が不要な点も、被災時にはたいへん重宝されています。コンセントはフロアコンソールボックス背面とラゲッジルームの合計2カ所に設置しています。

#### 操作方法

- 1 スイッチをON
- 2 3 アース付コンセントに挿す



外部給電装置  
不要!



※番号はスイッチとコンセントの位置

### V2H機器を組み合わせれば、さらに快適な生活に。

「V2H」とは「Vehicle to Home」の略で、クルマに蓄えた電気を家で使うしくみのこと。停電や災害等でライフラインが寸断されても、アウトランダーPHEVのバッテリーからV2H機器を経由し、家全体へ電力を供給。通常と全く変わらない生活を送ることができます。

#### 一般家庭電力量

最大約 **10日分**<sup>\*1</sup>  
(エンジンでの発電を組み合わせた場合)



\*1: 供給可能電力量は当社試算による(一般家庭での一日当たりの使用電力量を約10kWh/日として算出。V2H機器等の変換効率を含みません)。住宅との接続にはV2H機器が必要です。V2H機器に接続している場合、エンジン始動による発電はできません。エンジンでの発電を行う場合は、V2H機器との接続を終了してください。V2H機器については、営業スタッフまたは各V2H機器取扱メーカーにおたずねください。

- 2つのACコンセントを同時に使用するとき、消費電力の合計が1500Wを超えないようにしてください。
- 消費電力が1500Wを超えると、給電停止または出力低下となる場合があります。
- ACコンセントに、たこ足配線はしないでください。
- 定格消費電力1500W以下でも使用できない機器があります。
- AC電源使用時は駆動用バッテリーの残量が少なくなると、自動的にエンジンが始動し充電をおこないます。車両の停止中にエンジンが始動した場合、アイドリングストップに関する条項に抵触することがありますので、十分にご注意ください。
- 使用する電気製品に付属の取扱説明書や、製品に記載されている注意事項をご覧の上でご使用ください。

# 「くらしの安心・安全を守る車」として、 アウトランダーPHEVが各地で活躍。

## 全国自治体と

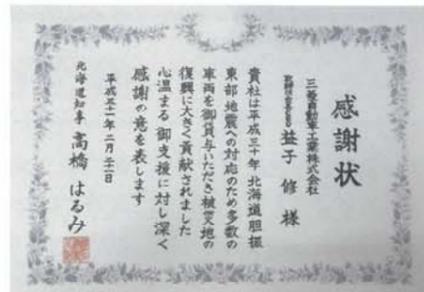
### 災害発生の際、全国でアウトランダーPHEVが活躍。

東日本大震災※以来、三菱自動車は大規模災害発生時にアウトランダーPHEVをご提供し、各地で輸送手段や電源としてお役立ていただきました。

※東日本大震災では電気自動車「i-MiEV」を貸与

#### アウトランダーPHEVによる支援をおこなった事例

- ・熊本地震（2016年4月）
- ・九州北部豪雨災害（2017年7月）
- ・西日本豪雨災害（2018年7月）
- ・北海道胆振東部地震（2018年9月）
- ・令和元年房総半島台風（2019年9月）



北海道庁からの感謝状

### 電源車として被災地でお役立ていただく 「DENDOコミュニティサポートプログラム」を推進中。



岡山県締結式

アウトランダーPHEVの給電機能を活かし、被災地へ電動車の給電による支援活動をおこなう「DENDOコミュニティサポートプログラム」を、2019年8月より開始しました。

自治体、販売会社、三菱自動車の三者による「災害時協力協定」をあらかじめ締結し、事前に連絡先を取り交わしておくことで、最も電力が必要である災害発生初期の停電時に、迅速に電動車をご提供します。

現在、多くの自治体からの要望を受け、メーカーと販売会社が一体となり、各自治体との協定締結を進めています。

2020年3月末時点：約40自治体と締結済

### 自治体でのアウトランダーPHEVの導入事例も増加中。

給電が簡単にできる点、4WDで被災時の悪路でも難なく走れる走破性など、災害時での数々の活躍により、全国自治体での導入事例も増えています。



静岡県（オリジナルラッピング）



青森県

## 災害対策車として

### 災害対策車「特務機関NERV」仕様を共同製作。

防災・気象情報の配信を行うゲヒルン社、衛星通信サービスの提供を行うスカパーJSAT社の協力のもと、防災情報配信サービスの継続と近隣自治体への災害時支援を目的とした災害対策車「特務機関NERV 制式 電源供給・衛星通信車両 5LA-GG3W(改)」を共同製作しました。

アウトランダーPHEVに搭載されている大容量バッテリーを活用し、災害により長期停電や通信網の途絶が発生した場合でも、搭載した衛星通信設備によって、電力と通信を独自に確保することが可能です。

ゲヒルン社が運営する「特務機関NERV防災」アプリや、内閣府が提供する衛星安否確認サービス端末「Q-ANPI」を通じ、地震や津波などの防災気象情報、停電情報や避難所情報といった防災関連情報を配信できるほか、車両そのものがWi-Fiスポットとしての役割も果たします。



#### 提供サービス

- ① 電源供給・充電サービス
- ② Wi-Fiによるインターネットサービス
- ③ 安否・避難所情報の通信サービス（避難所の避難者・運営者向け）

詳しくはスペシャルサイトへ。  
[https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/outlander\\_phev/special/NERV/](https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/outlander_phev/special/NERV/)

## 防災の拠点として

### 「電動 DRIVE STATION」は、いざという時の避難場所に。

「電動 DRIVE STATION」は、クルマの電動化が進むいま、三菱自動車が考える、電動車両(EV・PHEV)の意義の1つ「外部給電機能がもたらす災害時の価値」を具現化した店舗です。

電動DRIVE STATIONには、太陽光発電システムとV2H機器が設置されており、太陽光発電による電動車両への充電と、電動車両の駆動用バッテリーに蓄えた電気を店舗に供給することが可能です。災害時に停電が発生した際には、電動車両の電力を使用し、携帯電話やPCの充電、フリーWi-Fiがお使いいただけるなど、緊急時の避難場所としてもご利用いただけます。



詳しくはWebで。  
[www.mitsubishi-motors.co.jp/special.dendo](http://www.mitsubishi-motors.co.jp/special.dendo)



ダイニングルームを模した「ライフスタイルコーナー」では、電動車両の電力を使用した生活をご体感いただけます。災害時等を想定し「V2H機器による住宅への給電」と「車両から電化製品への直接給電（V2H機器を使わない）」の2つを、デモンストレーションにてご紹介します。

本リーフレットは、2020年3月現在の情報に基づいて作成しています。車両の仕様および装備などは予告なく変更する場合があります。

